

## 令和6年度定時評議員会議事録

開催日時：令和6年5月25日（土） 13：30-15：10

開催場所：大泉勤労福祉会館 集会室（多目的室）

### 【開会の辞】

定刻に司会者藤倉彰夫理事より令和6年度定時評議員会の開催が宣言された。

（参加者全員で音源に合わせて校歌を唱和）

### 【定足数の確認】

令和6年度の評議員総数は開催案内送付時374名で宛先不明者3名が判明し、その結果今回の評議員総数は371名とした。開始時点での出席者57名、議長及び出席評議員への委任状125名（オンライン参加者1名を含む）で合計が182名となり、いずみ会規約13条に基づく定足数124を満たしている旨、中城理事より報告され、本評議員会が適正に且つ正式に成立したことが確認された。（最終出席者は67名）

### 【荒井会長挨拶】

「皆さんこんにちは。コロナ禍でいずみ会活動はここ数年間思うような活動できませんでした。コロナ後においても従来と同じような活動が困難な状況が続いています。いずみ会では希薄となった中間層の世代との繋がりをどのよう改善していくかが課題であります。本日の懇親会を始めとして、様々な場を通じて会員の皆さんからの意見を聞くことが出来れば幸いです。本日は評議員の皆さんの厳正なご審議をお願いします。」

### 【来賓紹介】

司会より学校長並びに副校長の名前が紹介され、浜田浩和高等学校副校長から頂いた挨拶文が紹介された。要点としては高校入試が廃止となってから3年が過ぎ、現在は高校3学年が3クラス、中学3学年が4クラスであり、中高一貫校として令和9年度には高校から中学までの6学年が4クラスとなる旨の話があった。

### 【議長選出】

議長に石川文武評議員（高校15期）を選出し、以下の議事進行は議長に委ねられた。

議事録署名人選出：議事録署名人として茂木宏評議員（高校23期）、笠間功評議員（高校24期）を選出した。

### 【第1号議案\_\_令和5年度事業報告及び収支決算の承認の件】

山川事務局長より令和5年度事業報告がスライドを使って説明された。

- \* 令和5年度定時評議員会（令和5年5月27日に大泉勤労福祉会館大会議室で開催）
- \* 理事会、監査会等の活動（昨年引き続きウェブ配信を並行して会議を開催）
- \* 活性化に向けての取り組み

令和6年1月8日に「74期の20歳の集い」の開催を支援

- \*会報の発行、広報活動の充実（会報67号発行、ホームページの内容充実）
- \*総会及びホームカミングデー（令和5年10月28日開催）
- \*財政管理（収入：予算比29.9万円減収、支出：予算比92.2万円減額、  
収支：14.9万円黒字、174名の新会員から入会金振込同意を得た）
- \*会員情報の整備（76期の名簿作成及び配布）
- \*母校・PTAとの連携（具体的活動は実施できず）
- \*人材バンク活動（職業講話講師：6名を選出し講話を実施）
- \*いずみ会80周年行事の企画検討（実行部隊として3の会、4の会を指名）

山本会計部長より令和5年度収支決算報告がスライドを使って説明された。

収入の部としての特記事項は、寄付金の入金予算を上回り、入会金はほぼ予定通りの金額となった。大幅に予算に対して収入が減っている科目は、会費の当期入金分と前受会費である。この収入は長期に渡る財政赤字となる原因と考える。

支出の部はどの科目においても予算執行残となっているが、ホームページ関連費はシステム耐用年数を過ぎている事もあり、次期システム更新に向けた検討のため予算オーバーとなっている。また、母校支援費における卒業記念品の費用が予算オーバーとなっているが、記念品の単価を落とす目的で将来分の記念品を合わせてまとめ買いした事により赤字となっている。

収支決算として2期振りに黒字決算となったが、現預貯金残高は前年度から50万円程度減っているので漸減傾向は継続している。

続いて、議長から布施百合子監査役、水野國雄監査役、妹尾和夫監査役の3名の紹介があり、監査役を代表して水野國雄監査役から令和5年度監査報告がなされた。

冒頭、議案書添付の監査報告書の報告日に誤記があった旨のお詫びがあり、合わせて報告書は印影のない謄本を載せているが、印影は個人情報に該当するため謄本を添付している旨の説明があり、スライドでは監査報告書の正本を投影して監査内容の報告があった。

「監査報告書」に記載の通り、会計は正確に処理されており事業報告についても適正であると認める。理事の職務執行においても問題となる点は無かったとの報告を受けた。

監査報告の後、第1号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[質問] 事業報告の第9.人材バンクの項目で「大学模擬授業」は現役大学教員とあるが現役でなければならないのか？

[回答] 学校側の希望で開講している授業なので現役大学教員に現在は限られている。

[要望] 今後は大学教員の退職者への要請も可能かを確認願いたい。

その後、議長が裁決を求めて、第1号議案は賛成多数で承認された。

議長より議案審議において、次期事業計画案を審議する前に第3号議案でいずみ会規則改正が決議されなければ、次期事業計画案を決議する事が出来ないと動議があり、第3号議案を先に審議する事となった。

【第3号議案\_\_いずみ会規約及びいずみ会規則改正の件】

山川事務局長より「いずみ会規約」に関する改正案がスライドを使って説明された。  
改正については下線部の文書の追加である。

第15条 やむを得ない理由のため評議員会に出席できない評議員は、他の評議員を代理人として表決を委任することができる。尚、評議員会が対面形式で開催できない場合のみ、書面により表決する。

2 前項の場合における前2条の規適用については、その評議員は出席したものとみなす。昨年度上程された改正内容で変更はないが、理事会で再度審議した過程を踏まえて同一の改正内容となった旨の説明があった。

引き続き「いずみ会規則」に関する改正案がスライドを使って説明された。

第4条 事務局に次の各部を置く。

1号～6号の中で「2）会報部」と「5）ホームページ部」を統合して「2）広報部」として1号～5号にまとめる。

山川事務局長説明の後、第3号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[質問] 15条に委任の項目を設けている目的はどのように捉えているのか？

[回答] 議決を行うためには出席者数のみでは定足数に足りないケースがあり、そのためには委任を認める必要がある。

[質問] 実際に出席者数だけでは定足数に足りていない事が問題ではないのか？実際に出席できない人の意見を聞かなくて決議される事は問題である。

[回答] 議案に対して反対の意見がある方で評議員会に出席できない場合には、返信欄に意見を記載する事ができ、このような意見があった場合はこの場で紹介して決議を求める事としている。あくまで決議は対面で行いたいと考えている。

議長から今回の規約改正は追加文書内容の審議であり、この点で決議を行いたいとの提議があり、ここまでの意見を踏まえ決議をお願いし、その結果3議案の規約及び規則改正は賛成多数で承認された。

尚、改正内容の施行時期は6月1日以降として付記する事とした。

【第2号議案\_\_令和6年度事業計画（案）及び予算（案）承認の件】

山川事務局長より令和6年度事業計画（案）がスライドを使って説明された。

事業計画立案にあたっての状況説明があり、その後事業計画について項目ごとに説明された。

- \* 令和6年度評議員会（令和6年5月25日開催）
- \* 理事会、監査会等の活動
- \* 活性化に向けての取り組み（「20歳の集い」等の同期会開催支援について）
- \* 会報発行、広報活動（会報68号発行及び郵送方法の見直しについて）
- \* 母校文化祭への参加呼びかけ（令和6年9月7・8日予定）
- \* 総会の外部会場での開催について（令和6年10月26日予定）

- \* 財政管理（会費納入実績に応じた会報の限定発送の継続、会費納入方式の見直し）
- \* 会員情報の整備（高校77期の名簿作成、配布）
- \* 母校及びPTAとの連携
- \* 人材バンク（会員相互の活性化につなげる人材情報の収集）
- \* いづみ会創立80周年行事（令和7年10月25日予定）における企画内容を検討する  
懇親会担当期として3の会、4の会で行い、その一環としてホームページのリニューアル検討会を立ち上げ、定期的な見直しを図る。

山本会計部長より令和6年度予算（案）がスライドを使って説明された。

令和5年度予算及び実績を参考に令和6年度の予算案を策定した。収入の部においては、新たな科目として「評議員会懇親会参加費」を新設した。この科目は、総会での懇親会と同様に会費を集めて開催するため入金科目として設けた。前受入会金はこれから3年間3クラス体制となるため減額の予算となった。支出の部においては、総会関連費の中に「いづみ会80周年準備活動費」を来年の周年行事に合わせて科目を設けて10万円の予算を計上した。広報費は新たな発送方法を検討する中で昨年度予算より20万円アップ、「ホームページ関連費」及び「会費システム関連費」ともにシステム管理委託費のアップ分を含んで前年度予算より10万円程度アップしている。母校支援費の中の科目として「広報支援費」を設けていたが、使用用途が限られるため予備費に含める事として「広報支援費」を廃止する事とした。母校支援費の総額予算は前年度と同額だが、支援しやすいように実績のある科目に振り分けた。結果として、当期の収支金額は150万円程度の赤字予算となった。

追加情報として、現在の収支情報をもとに将来の財政状況を試算してみると、毎年の赤字予算を積み上げ2030年度から次期繰越金（正味資産）がなくなるとの私見を踏まえた予測が報告された。

山川事務局長、山本会計部長説明の後、第2号議案に関して以下の質疑応答が行われた。

[質問]「評議員会開催」の予算が増額している理由は何か？

[回答]「評議員会懇親会参加費」の収入を受けて支出の部の「評議員会開催費」において懇親会費を計上した結果、昨年予算より飲食費として9万円を支出計上している。ただし、この費用は収入科目の5万円から差し引いた実質増額は4万円となる。

[質問]「会計システム関連費」は前年予算に対して大幅アップとなっているが、今後もこの額が継続するのか？

[回答]「会計システム関連費」は令和4年度予算で26万円計上していたが40.5万円の実績となった。この理由は次年度分の費用を事前に振り込んだためであり、その結果として令和5年度予算では差額の11万円として計上していた。そのため令和6年度予算では令和4予算額26万円に戻して、その額にシステム管理委託費のアップ分9万円を乗せて35万円となっている。

その後、議長が裁決を求めて、第2号議案は賛成多数で承認された。

【第4号議案―いずみ会役員選任の件】

山本選挙管理責任者より、役員選任手順として候補者の推薦及び立候補者の募集は会報67号での掲載及びホームページへの掲示により行い、本年1月31日に締め切り5件の推薦メール（立候補者は0件）を受け付けた旨の説明があった。メールでは会長候補者1名、役員候補者4名の推薦があり、現役員の継続同意の副会長3名、理事9名、監査役2名が代表者による推薦を受け、その後、当人への承諾を得た結果として会長1名、副会長3名、理事12名及び監査役3名の候補者名が紹介された。

その後、議長が裁決を求めて、第4号議案は賛成多数で承認された。  
尚、その結果として4名の現役員が退任する事となった。

【報告事項】

○「2の会」からの報告

32期の棟方氏から令和6年10月28日開催の総会後の懇親会は「2の会」が担当し、開催する予定で、多くの方の参加をお願いするとの報告があった。

以上を持って、審議・報告事項を終了し、議長を解任。石川氏は降壇した。

【閉会の辞】

（参加者全員で音源に合わせて校友の歌を唱和）

藤倉彰夫理事より令和6年度定時評議員会の閉会が宣言された。

以上

議事録署名 議長 石川 文武  
令和 6年 7月 11日

評議員 茂木 宏  
令和 6年 7月 16日

評議員 笠間 功  
令和 6年 7月 19日